

使い方のきまり



学校名

氏名

はじめに

この使い方のきまりは、白老町立小・中学校の児童生徒が、学習者用端末（タブレット）を使って学習できるように使い方や決まりをまとめたものです。

先生やおうちの人としっかりと確認して、正しく使いましょう。

1 まもりましょう

① タブレットは、学習や生活を便利にするための道具です。正しい使い方を学びましょう。

② タブレットは、みなさんのため白老町が購入した大切なものです。優しく、丁寧に使いましょう。

③ タブレットを使うときは、画面に顔を近づけすぎず正しい姿勢で使いましょう。

④ タブレットは、鉛筆やノートと同じ文房具の一つです。学習に必要な場面で使いましょう。

2 タブレットの使い方

(1) 使用するとき

- ① 毎日の授業
- ② 学校以外の人との交流
- ③ 学校の外での学習（社会科見学、修学旅行など）

(2) 使う場所

学校内で使うことが中心ですが、学校外で使うときは、先生の指示や許可を受けて使います。

(3) 使うときに気を付けること

《タブレット本体》

- ① 手はきれいにしてから使います。
- ② 借りているものなので大切に扱います。
- ③ タブレットを運ぶときは、しっかりと持って落とさないように気を付けます。
- ④ タブレットを持って走る、地面に置く、落ちそうなところに置くなど、壊れることがありそうなことはしません。
- ⑤ 正しい姿勢で使います。
- ⑥ ぬれた手や水筒の近くなど、水分や湿気のあるところでは使いません。
- ⑦ ほこりやごみの多いところでは使いません。
- ⑧ 日光が直接あたるところや、ストーブの近くなど熱く（暑く）なるところでは使いません。
- ⑨ 置き忘れたり、なくしたりしないようにいつも自分のそばに置きます。
- ⑩ タブレットに落書きをしたり、関係のないシールを貼ったりはしません。
- ⑪ タブレットの画面は、指やタッチペンを使います。
- ⑫ 磁石などは、タブレットの故障につながるので近づけません。
- ⑬ 学校、先生の許可なく使いません。
- ⑭ 学校、先生の許可なく校外に持っていきません。
- ⑮ 学校、先生の許可なくアプリなどを入れたり、削除したりしません。
- ⑯ いつもと違うことがあったときはかならず先生に伝えます。

《学校での使い方》

- ① 使うときは、充電保管庫から決められたタブレットを用意してログインします。
- ② 机の上は整理して、安定したところに置きます。
- ③ 学習に必要なない操作はしません。
- ④ 話を聞くときは、タブレットの操作を止めて聞きます。
- ⑤ 休み時間や放課後に使うときは、先生の許可をもらってから使います。
- ⑥ 特別教室などで使うときは、先生の指示を聞いてから使います。

《カメラの使い方》

- ① タブレットのカメラを使うときは、先生の指示を受けて使います。
- ② 撮影するものは、学習に必要なものだけとします。
- ③ 他の人を撮る、他の人の持ち物や家を撮るときは、必ず相手の許可をもらいます。

《データの保存・移動》

- ① タブレットで作ったデータやインターネットから保存したデータなどは、指定の保存場所（クラウド）に保存されます。タブレット本体に保存した場合は、クラウドに移動して、本体内のデータは削除するようにします。
- ② 家庭のパソコンなどを使って、学習に関係のないものをクラウドに入れたり、保存することはしません。

3 タブレットの保管

- ① 学校では、鍵のかかる充電保管庫（キャビネット）に入れます。

使うときにキャビネットから出して、使い終わったらキャビネットに入れて、充電コードをつないでください。

キャビネットの鍵の管理は、先生がします。

- ② 学習で使用しない時間は、机の中やロッカー、キャビネットなど先生の指示を受けて保管します。

4 タッチペンについて

タッチペンは、タブレットに保管するものです。なくしたり、こわしたりしないように学習で使います。

5 充電保管庫（キャビネット）について

- (1) キャビネットの周りで走ったり、ふざけたりしません。
- (2) 充電コードは、ひっぱったりしません。
- (3) 充電コード以外は、さわりません。
- (4) キャビネットの使い方は、先生の指示を聞きます。

6 個人情報について

個人情報とは？

名前や生年月日、住所など「その人が誰なのかわかる」情報のことです。

- (1) ID やパスワードは、先生と保護者以外には教えません。
- (2) パスワードは、勝手に変えません。
- (3) アカウントカードは、しっかりと管理して他の人に貸したりしません。
- (4) 自分や他の人の個人情報は、インターネット上に絶対に載せません。

7 健康を守るために

- (1) タブレットの画面に顔を近づけすぎず、正しい姿勢で使います。
- (2) 30分に1回は遠くを見るなどして、ときどき目を休めます。

8 困ったときは

- (1) 見たことのないインターネットの画面や、操作していない表示などがでてしまったときは、すぐに身近な大人（先生や保護者）に知らせます。
- (2) 壊してしまったとき、なくしてしまったときはすぐに身近な大人（先生や保護者）に知らせます。

9 そのほか

この使い方のきまりや学校のきまりが守れないときは、タブレットを使うことができなくなることがあります。